

SDS 302 製品名 プレカラーNo. 85(N) メタリック各色

安全データシート(SDS)

1.化学品及び会社情報

化学品等の名称	プレカラーNo. 85(N) メタリック各色
製品コード	-
供給者の会社名	ビルトマテリアル株式会社
住所	東京都目黒区駒場3-12-41
電話番号	03-3460-3111
ファックス番号	03-3460-3110
電子メールアドレス	-
緊急連絡電話番号	-
推奨用途	-
仕様上の制限	-

「2～16」の項目につきましては、次頁以降に記載してあります製品製造会社の安全データシート(SDS)をご参照下さい。

本SDSは、国内法等の要求から、作成および改訂時において入手可能な最新情報をもとに製造元が作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅したものではありません。

新たな情報を入手した場合は、記載内容を改訂します。また、記載のデータや危険有害性等の情報は、いかなる保証をなすものではありません。

当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用するときは、取扱事業者において安全性を確認してください。

日鉄鋼板株式会社

SDS 302号 改訂日:2022年5月17日(第5版)

製品名称: プレカラーNo. 85(N) メタリック各色

安全データシート(SDS)

1 製品及び会社情報

- ◇製品の名称 :プレカラーNo. 85(N) メタリック各色
- ◇会社名 :日鉄鋼板株式会社
- ◇住所 :東京都中央区日本橋本町一丁目5番6号 第10中央ビル
- ◇担当部門 :営業総括部
- ◇電話番号 :03-6848-3700
- ◇FAX.番号 :03-6848-3797

「2～16」の項目につきましては、次頁以降に記載してあります製品製造会社の安全データシート(SDS)をご参照下さい。

本 SDS は、国内法等の要求から、作成および改訂時において入手可能な最新情報をもとに製造元が作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅したものではありません。
新たな情報を入手した場合は、記載内容を改訂します。また、記載のデータや危険有害性等の情報は、いかなる保証をなすものではありません。
当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用するときは、取扱事業者において安全性を確認してください。

安全データシート(SDS) 【 混合物用(塗料用) 】

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質の名称(製品名)	プレカラーNo.85(N) メタリック各色
会社名	アクゾノーベル株式会社
住所	〒244-0816 神奈川県横浜市下倉田町296番地
担当部門	メタルコーティングス事業部
電話番号	045-870-2513
FAX番号	045-870-2520
作成者	メタルコーティングス事業部テクノロジー 西田 信博
製品の種類	常温乾燥型フッ素樹脂塗料
主な用途	カラー鋼板用補修用塗料

2. 危険有害性の情報

【GHS分類】

引火性液体	: 区分2
急性毒性(経口)	: 区分5
急性毒性(経皮)	: 区分外
急性毒性(吸入:ガス)	: 区分外
急性毒性(吸入:蒸気)	: 区分5
急性毒性(吸入:粉塵, ミスト)	: 区分外
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分2
呼吸器感受性	: 分類できない
皮膚感受性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分2
発がん性	: 区分2
生殖毒性	: 区分1A

特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)

区分1	臓器(肝臓、中枢神経系、脾臓)の障害
区分2	臓器(腎臓、肺)の障害のおそれ
区分3	呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)

区分1	長期または反復暴露による臓器(肝臓、腎臓、中枢神経系、末梢神経系)の障害
区分2	: 区分外

* 標的臓器の詳細は第11項の有害性情報を参照のこと。

吸引性呼吸器有害性	: 分類対象外
水生環境有害性(急性)	: 区分外
水生環境有害性(慢性)	: 区分外

【GHSラベル要素】

【絵表示】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性の情報】

引火性の高い液体および蒸気
飲み込むと有害のおそれ
吸入すると有害のおそれ(蒸気)
皮膚刺激
重篤な眼への刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ または 眠気およびめまいのおそれ
長期にわたるまたは反復ばく露による臓器の障害

【注意書き】

《予防策》

容器を密閉しておくこと。
火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。(禁煙)
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
取扱時には飲食や喫煙をしないこと。
保護手袋／保護眼鏡／保護マスクを着用すること。
取扱後は手をよく洗うこと。
環境への排出を極力避けること。
塗料が付着した布、紙等の可燃物は廃棄まで水に浸して保管する。

《緊急対応》

目に入った場合：
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：
直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
皮膚等に付着した場合：
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
漏出した場合：
漏出物を回収すること。

《保管》

涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分および含有量 (危険有害性物質を対象)

化学名または一般名	CAS No.	濃度 (%)	備考
脱硫石油ナフサ	64742-82-1	1～5	
キシレン	1330-20-7	0.1～1	化審法優先評価化学物質No.125
シクロヘキサン	108-94-1	15～20	化審法優先評価化学物質No.131
二酸化ケイ素	7631-86-9	0.1～1	
トルエン	108-88-3	0.1～1	化審法優先評価化学物質No.46
メチルエチルケトン	78-93-3	40～45	化審法優先評価化学物質No.115

4. 応急措置

《目に入った場合》

- ①直に大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏側まで完全に洗うこと。
- ②出来るだけ速く医師の診断を受ける。

《皮膚に付着した場合》

- ①付着物を布で素早く拭き取り、大量の水および石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーなどは使用しないこと。
- ②外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

《吸入した場合》

- ①蒸気、ガスを大量に吸い込んだ場合には、直に空気の新鮮な所に移し、暖かくして安静にする。
呼吸が不規則又は止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込まないようにする。
直に医師の手当てを受ける。
- ②蒸気、ガスを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の手当てを受ける。
呼吸が不規則又は止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込まないようにする。
直に医師の手当てを受ける。

《飲み込んだ場合》

- ①誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ②嘔吐物は飲み込まないこと。
- ③医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水 [] , 炭酸ガス [○] , 泡 [○] , 粉末 [○] 乾燥砂 [] , その他 []

使ってはならない消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。

棒状水。(直接水を消火に用いてはならない)

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具

呼吸用保護具を着用すること。

及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

- ①付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を速やかに取り除く。
- ②着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- ③衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ④作業の際は適切な保護具(手袋・防護マスク・エプロン・ゴーグル等)を着用する。
- ⑤乾燥砂・土・その他不燃性のものに吸収させ、大量の場合は、盛土で囲って流出を防止する。

- ⑥漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ⑦河川等に排出され、環境への影響を起ささないよう注意する。
- ⑧付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

《取扱上の注意》

- ①換気のよい場所で取り扱う。
- ②容器はその都度密閉する。
- ③周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- ④静電気対策のため装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものとする。
- ⑤工具は火花防止型のものを用いる。
- ⑥使用済みウエス・塗料カス・スプレーダスト等は廃棄するまでの間、水に漬けておく。
- ⑦皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。
- ⑧取扱い後は手・顔などを良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。
- ⑨密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
- ⑩温度が高くなると引火性があるので注意する。火気のある所では取り扱わないこと。

《保管上の注意》

- ①通気をよくし、蒸気が滞留しないようにする。
- ②日光の直射を避ける。
- ③火気熱源から遠ざける。

8. 暴露防止及び保護措置

物質名	管理濃度	許容濃度 ACGIH(TWA)	その他有害性
脱硫石油ナフサ			
キシレン	50ppm	100ppm	LD50 4351mg/kg(rat)
シクロヘキサノン	20ppm	20ppm	LD50 1620mg/kg(rat)
二酸化ケイ素		10mg/m3	LD50 >5000mg/kg(rat)
トルエン	20ppm	20ppm	LD50 7530mg/kg(rat)
メチルエチルケトン	200ppm	200ppm	LD50 2737mg/kg(rat)

《設備対策》

- ①排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。
- ②取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれなような設備とすること。
- ③液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取るよう設備すること。
- ④取扱い設備は、防爆型の装置を使用する。
- ⑤屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備にするか、局所排気装置などにより作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備にすること。
- ⑥タンク内部等の密閉場所で作業をする場合には、特に底部まで十分に換気出来る装置を取り付けること。

《保護具》 [呼吸系の保護]

有機ガス用防毒マスクを着用する。
密閉された場所では、送気マスクを着用する。
スプレー作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

[目の保護]

保護メガネを着用する。

[皮膚の保護]

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

[その他の保護具]

静電塗装する場合には、通電靴を着用する。

9. 物理及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体
色	メタリック各色
臭い	溶剤臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	79.6 ~ 155°C (参考値)
可燃性	データなし
爆発下限]下限	1.1% (参考値)
上限	11.5% (参考値)
引火点	14°C
自然発火点	404°C (参考値)
分解温度	データなし
pH	該当せず
動粘性率	データなし
溶解度	水に難溶
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	94.92 (hPa/20°C)
密度及び/又は相対密度	1.05 ~ 1.15
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性 通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件	いかなる発火源(火花あるいは炎)にも近づけてはならない。加圧、切断、溶接、ロウ付け、はんだ付け、穴あき研削を行ってはならず、容器を熱源や発火源に近づけてはならない。
混触危険物質	次の物質と反応性あるいは危険配合性: 酸化性物質
危険有害な分解生成物	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 経皮 吸入	分類できない 分類できない (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) 区分4 (粉じん・ミスト) 分類できない
皮膚腐食性/皮膚刺激性		区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分1
呼吸器感受性		区分1
皮膚感受性		区分1
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		区分1A
生殖毒性		(生殖毒性) 区分1A (生殖毒性・授乳影響) 授乳に対するまたは授乳を介した影響に関する追加区分
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分1(肝臓) 区分1(血液系) 区分1(呼吸器) 区分1(心血管系) 区分1(腎臓) 区分1 区分2(腎臓) 区分3(麻酔作用) 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(呼吸器) 区分1(腎臓) 区分1(中枢神経系) 区分1(神経系)
誤えん有害性		分類できない

12. 環境影響情報

(1) 組成物質の水生環境有害性情報(危険有害性物質を対象)

- 水生環境有害性(急性)
キシレン(区分2)、トルエン(区分2)
- 水生環境有害性(慢性)
キシレン(区分2)

- (2) 生態毒性 : 混合物としてデータなし
- (3) 残留性/分解性: 混合物としてデータなし
- (4) 生蓄積性 : 混合物としてデータなし
- (5) 土壌中の移動性: 混合物としてデータなし

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

- ① 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
- ② 容器、危機装置等を洗浄した洗浄液等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ③ 排水処理、廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律にしたがって処理を行うか、処理を委託すること。毒劇物取締法該当の場合、「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」にしたがって処理をする。
- ④ 廃塗料などを焼却処理をする場合、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
- ⑤ 廃棄物等を焼却処理をする場合、有害ガス等を発生するため、適切な除去装置のある焼却炉を使用すること。

14. 輸送上の注意

- ① 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
- ② 陸上輸送では、消防法、労働安全衛生法、毒劇物取締法に該当する場合には、法令の定めるところに従うこと。
- ③ 海上輸送では、船舶安全法の定めるところに従うこと。
- ④ 航空輸送では、航空法の定めるところに従うこと。

指針番号:	128
国連番号:	1263
国連危険等級:	3 (Flammable liquids)
容器等級:	II

15. 適用法令

労働安全衛生法:	危険物(引火性の物),有機溶剤中毒予防規則(第2種有機溶剤),
毒物劇物取締法:	該当しない
消防法:	第4類第1石油類(非水溶性)
悪臭防止法:	キシレン,メチルイソブチルケトン,トルエン,
化学物質管理促進法:	該当物質無し

16. その他の情報

主な引用文献

- ☆独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)公表データ
- ☆日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
- ☆溶剤ポケットブック
- ☆危険防災救急便覧
- ☆国際化学物質安全カード(ICSC)

注意 : 危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱には十分注意して下さい。